

2024年3月26日

各位

株式会社三井住友銀行

サムティ株式会社へのシンジケーション形式による
「グリーンローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、サムティ株式会社（代表取締役社長：小川 靖展）に対し、同社が策定した「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）に基づくシンジケーション形式のグリーンローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートイングを通じ透明性が確保されたものを指します。本ローンで調達される資金は、本フレームワークで定められた適格プロジェクトであるグリーンビルディング（第三者認証機関の環境認証取得予定）の建設資金に充当されます。

【本ローンの概要】

契約日	2024年3月26日
組成金額	68億円
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
エージェント	株式会社三井住友銀行
契約期間	5年9ヵ月
資金用途	グリーンビルディング建築資金
貸付人（五十音順）	株式会社愛知銀行、株式会社香川銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社三十三銀行、株式会社商工組合中央金庫、株式会社三井住友銀行

サムティ株式会社は、1982年に大阪市で創業した総合不動産会社であり、全国各地で賃貸マンションやホテル、オフィスの開発・保有を行なっています。特に、賃貸マンションにおいては、開発・バリューアップ、保有・販売、運営・管理を行うほか、メインスポンサーを務めるサムティ・レジデンシャル投資法人に対してのパイプラインサポートを通じて、グループのビジネス体制を最大限に活用する体制を構築しています。

サムティグループは経営理念である「倫理、情熱、挑戦 そして夢の実現」の実践に向け、サステナビリティ基本方針として「環境への配慮」「地域との共存」「人を大切にする企業の実現」「企業倫理の徹底」の4つの基本方針を定めており、「環境への配慮」の具体的な取組みとして、エネルギーや資源等に配慮したグリーンビルディングの開発・供給を行なっています。

今般、このような取組みの一環として、サムティ株式会社が策定した「グリーンローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）の適格クライテリアを充足する予定である「名古屋千種区内山3丁目Ⅲプロジェクト」の建築資金としてのグリーンローンを組成しました。本フレームワークは、「グリーンローン原則 2021年版」及び「グリーンローンガイドライン 2022年版」との適合性について、第三者評価として株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

サムティ株式会社 ホームページ：

<https://www.samty.co.jp/company.html> をご参照下さい。

サムティ株式会社 グリーンローン・フレームワーク：

<https://samty.disclosure.site/ja/themes/17/> をご参照ください。

株式会社格付投資情報センター（R&I）によるセカンドオピニオンの詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html> をご参照下さい。

以 上
【本件に関するお問い合わせ先】
サステナブルソリューション部
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。